

独立行政法人製品評価技術基盤機構
令和元年度契約監視委員会 審議概要

1. 日 時:令和元年6月17日(月)9:30~12:00

2. 場 所:製品評価技術基盤機構 本館2階技術研修室

3. 出席者

<委員>

委員長 梶 祐二 (公認会計士梶祐二事務所 公認会計士)

委員 小林 省治 (花王株式会社 前常勤監査役)

委員 河野 浩 (プラス法律事務所 弁護士)

委員 三井 久夫 (独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事)

委員 織 朱實 (独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事)

<機構関係者>

木井理事 他

4. 議題

(1)平成30年度契約実績報告

(2)平成30年度随意契約及び一者応札・応募(2か年連続一者含む)等

(3)平成30年度調達等合理化計画の自己評価結果

(4)令和元年度調達等合理化計画案

(5)その他

5. 議事概要

委員の互選により、梶委員が委員長に選任された。

資料に基づき、平成30年度の契約実績、随意契約及び一者応札・応募の状況、調達等合理化計画について機構から説明し、点検を行った。主な質疑は次のとおり。

●平成30年度契約実績、随意契約、一者応札・応募

<システムソフトウェア運用保守随意契約>

委員:(随意契約とした業務内容について)システムを開発した時には運用保守も含めた保守契約をパックにして導入されていることが多い、それを含めた契約になっているのか。

機構:システムを導入した際には開発と運用保守をセットにして複数年契約しておりますが、いったん契約が終了したため、毎年運用保守について契約しているものです。

<入札制度について>

委員:公正取引委員会からの指摘や資格停止を受けた企業は一定期間入札に参加できない仕組みはあるのか。

機構: はいあります。不正な行為をした企業などは競争入札には参加できません。

●調達等合理化計画

委員: 機構内の契約審査委員会等がうまく実態をチェックし、一者応札・応募、随意契約と単価の合理性など今後もしっかり見てほしい。

委員: メンテナンスなど継続的な作業は、前年契約に対しての比較の中で契約金額が適正なものであるかなどを機構内の契約審査委員会等で今後も適切に確認すること。

その他

本日の審議に加え個別点検・意見について、メールで提出していただくこととした。

以上

<配付資料>

座席表

議事次第

資料1 : 委員名簿

資料2 : 平成30年度契約実績報告

別紙1 : 平成30年度契約状況

別紙2-1: 平成30年度一者応札・応募の割合

別紙2-2: 平成30年度一者応札・応募契約リスト

別紙2-3: 平成30年度 29・30年度連続一者応札・応募 契約リスト

別紙3-1: 平成30年度高落札率(95%以上)及び低落札率(60%未満)の状況
高落札率(95%以上)、低落札率(60%未満)

別紙3-2: 平成30年度複数箇所同時入札・開札実施状況

別紙4-1: 平成30年度随意契約の状況

別紙4-2: 平成30年度公開見積実施結果

別紙4-3: 平成30年度 公益法人との契約リスト、平成30年度 会費等の支出
状況

別紙5-1: 平成24年度～平成30年度 の契約状況

別紙5-2: 平成25年度～平成30年度 契約適正化のための取り組み及び契
約状況

資料2-1: 平成31年度 独立行政法人製品評価技術基盤機構調達予定情報(平成
31年4月公表)

資料3-1: 平成30年度随意契約リスト(競争性のない)

長期継続契約(光熱水料、土地建物借料等)リスト

資料3-2: 平成30年度随意契約リスト(競争性のある) 企画競争/公募

資料3-3: 平成30年度一者応札・応募リスト

資料3-4: 平成29年度/平成30年度連続一者応札・応募 契約リスト

資料4: 平成30年度独立行政法人から公益法人への支出に関する

様式7-1 競争入札の見直しの状況(公共工事)

様式7-2 随意契約の見直しの状況(公共工事)

様式7-3 競争入札の見直しの状況(物品・役務等)

様式7-4 随意契約の見直しの状況(物品・役務等)

資料5:平成30年度独立行政法人から公益法人への契約以外の支出についての見直しの状況

資料6:令和元年度独立行政法人製品評価技術基盤機構調達等合理化計画(案)

資料7:平成30年度 評価指標報告

参考資料1:平成30年度契約監視委員会議事概要 (公表済)

参考資料2:平成30年度 調達等合理化計画 (公表済)

参考資料3:独立行政法人における調達等合理化計画策定要領
(平成28年2月2日 総務省行政管理局)

補足資料 平成30年度契約相手先一覧(随意契約、一者応札・応募)